



競技人生を語る小林雅幸さん



スポーツ講演会
駅伝は絆が大切

2月4日(日)、中央公民館大ホールで「箱根駅伝を走って学んだこと」と題して、スポーツ講演会が開催されました。現在スポーツ推進員で講師の小林雅幸さんは、元早稲田大学のエースとして箱根駅伝に出場し、区間新記録を出すなど活躍された選手で、実業団でも活躍されました。小林さんは経験談の中で、人との絆や目標を持って練習する大切さを、当時のエピソードを交えながら講演しました。

コミュニティスペース建設の打ち合わせを行う参加者



地域・まちなか活性化コンペ
交流の場をみんなでつくる

2月12日(振休)、渡良瀬遊水地近くにあるカフェの敷地内で、群馬県が主催した「地域・まちなか活性化コンペ」で最優秀事業プランに選ばれた「入りますかい」によるタイニー・コミュニティスペースづくりが行われました。リーダー的存在の高木一樹さん(朝日野)は「それぞれができることをやり、さまざまな世代の人と交流を持って行ける場にしたい」と笑顔で話してくれました。

スポーツ少年団レクリエーション大会
ターゲットをねらって、えい!

2月4日(日)、海洋センター体育館で、第19回ライオンズカップレクリエーション大会が開催され、スポーツ少年団の子ども達がニチレクボールを行いました。板倉オールスターズ(野球)の山本翼さんは、「勝つと嬉しいし、とても楽しいです」と話してくれました。優勝は板倉オールスターズA、準優勝は板倉ミニバスケットボールクラブCが勝ち取りました。



目標となるターゲットにより近づけたチームが得点します

板倉マジッククラブ発表会
マジックの祭典

2月18日(日)、中央公民館大ホールで、第17回板倉マジッククラブ発表会が行われました。ホールはほぼ満員の状態で、笑い声や驚きの声が会場に響き渡りました。次々と演目を披露する出演者達は、凝った衣装に身を包み、練習を積み重ねた成果を堂々と発表していました。第1部終了後には、社会福祉協議会への募金活動も行われ、多くのかたが善意の募金に協力しました。



あら不思議、何も無いところからドジョウが!

第1部で講演を行う三橋さゆり所長



賀詞交歓会の会場風景

新賀詞交歓会
新たな年を迎え

1月28日(日)、平成30年板倉町賀詞交歓会が、東洋大学板倉キャンパスを会場に開催されました。交歓会に先だて行われた記念講演会では、利根川上流河川事務所の三橋さゆり所長が、利根川の歴史や、最近のダムカード考案の秘話などの内容で講演を行いました。また交歓会では、町内企業関係者や官公庁関係者が一堂に会し、懇談が行われました。

二十歳の自分にに向けたメッセージをタイムカプセルに封印



立志式
大人への一步

2月9日(金)、板倉中学校で立志式が行われました。立志式参加者代表として、関口ちさとさんは「自分から動ける人になりたい、人に見られても恥ずかしくない大人になりたい」と意見発表を行いました。また、引き続き行われた講演会では、町内でうどんの製造販売を行っている原田一平さんが、自らの経験を生かして「何でもやってみて、ダメならまた次をやる」と講演を行い、生徒たちにエールを送りました。

意見発表を行った関口ちさとさん



立志式を迎えた中学生を前に講演する原田一平さん